

県番号 9 番

栃木県

持続可能な担い手獲得・育成へ

～多様化する『やってみたい』がハードルを越える為に～

J A 佐 野

藤沼 孝博

ふじぬま

たかひろ

持続可能な担い手獲得・育成へ

～多様化する『やってみたい』がハードルを越える為に～

JA佐野 藤沼 孝博

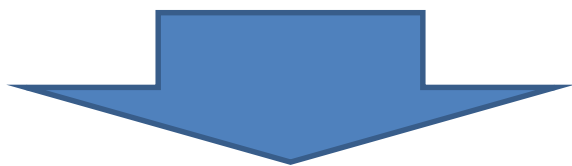
結論

農業者の減少



**JA佐野・地域農業
存亡の危機**

農業参入のハードルが高い！



**乗り越えられるハードルから、
越えていこう！**

現状と課題

就農時のイメージ

(例) 非農家出身だけど苺農家になりたい!

- ・ 家族2名+パート1名
- ・ 20aの単棟ハウス栽培

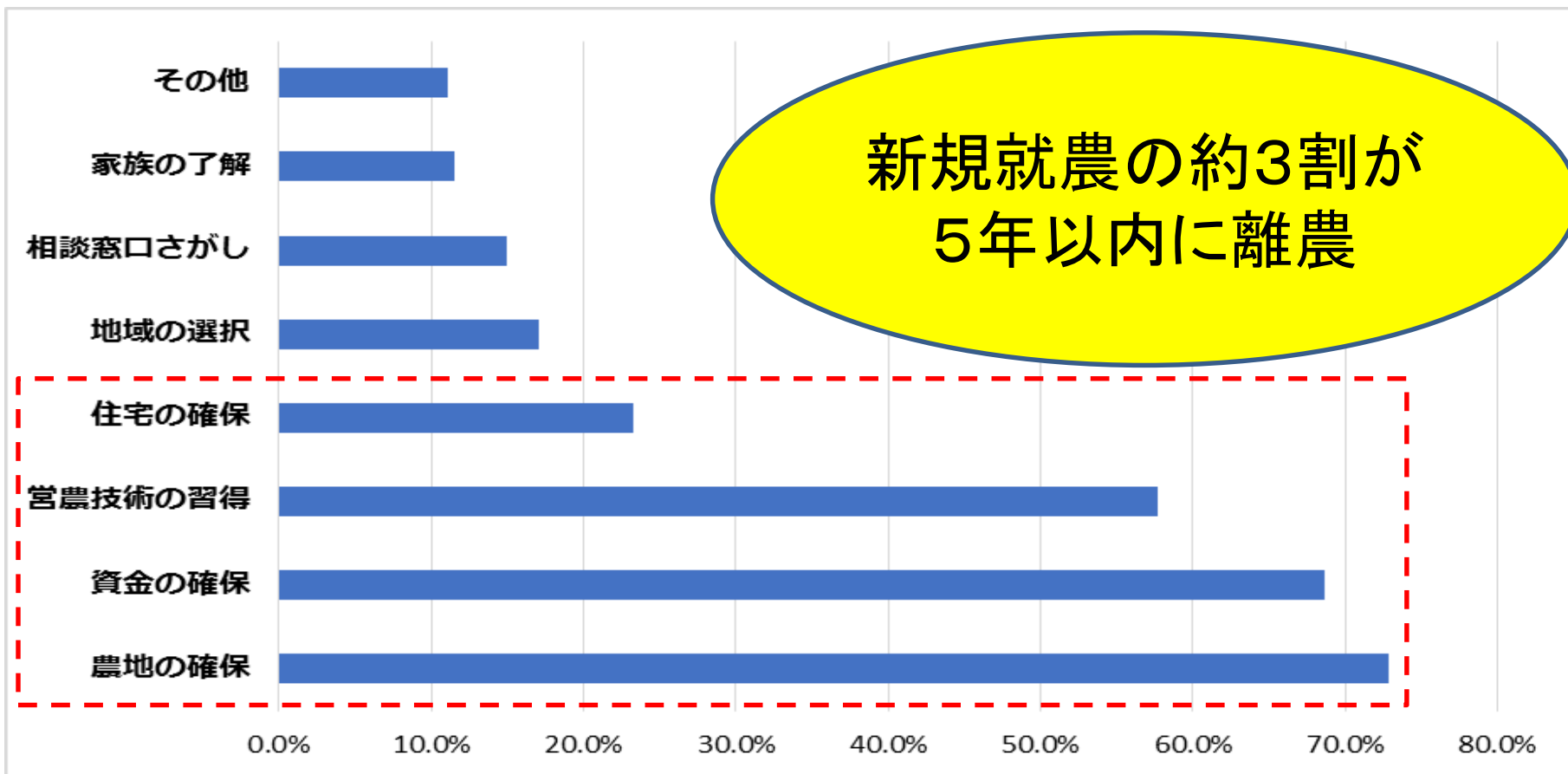
現行の支援キャッチコピー

【農業やりたきゃ、死ぬ気で来い!】

仕事と許すも 家族は長たすのか？
栽培技術は？農地は？本当にできるのか？

現状と課題

就農時に苦労したこと（統計）



新規就農者の就農実態に関する調査結果-R3年度-
(一般社団法人全国農業会議所全国新規就農相談センター)

支援が十分であるとは言えない

解決策

1

多様化する『やってみたい』に寄り添う
サポート体制の構築

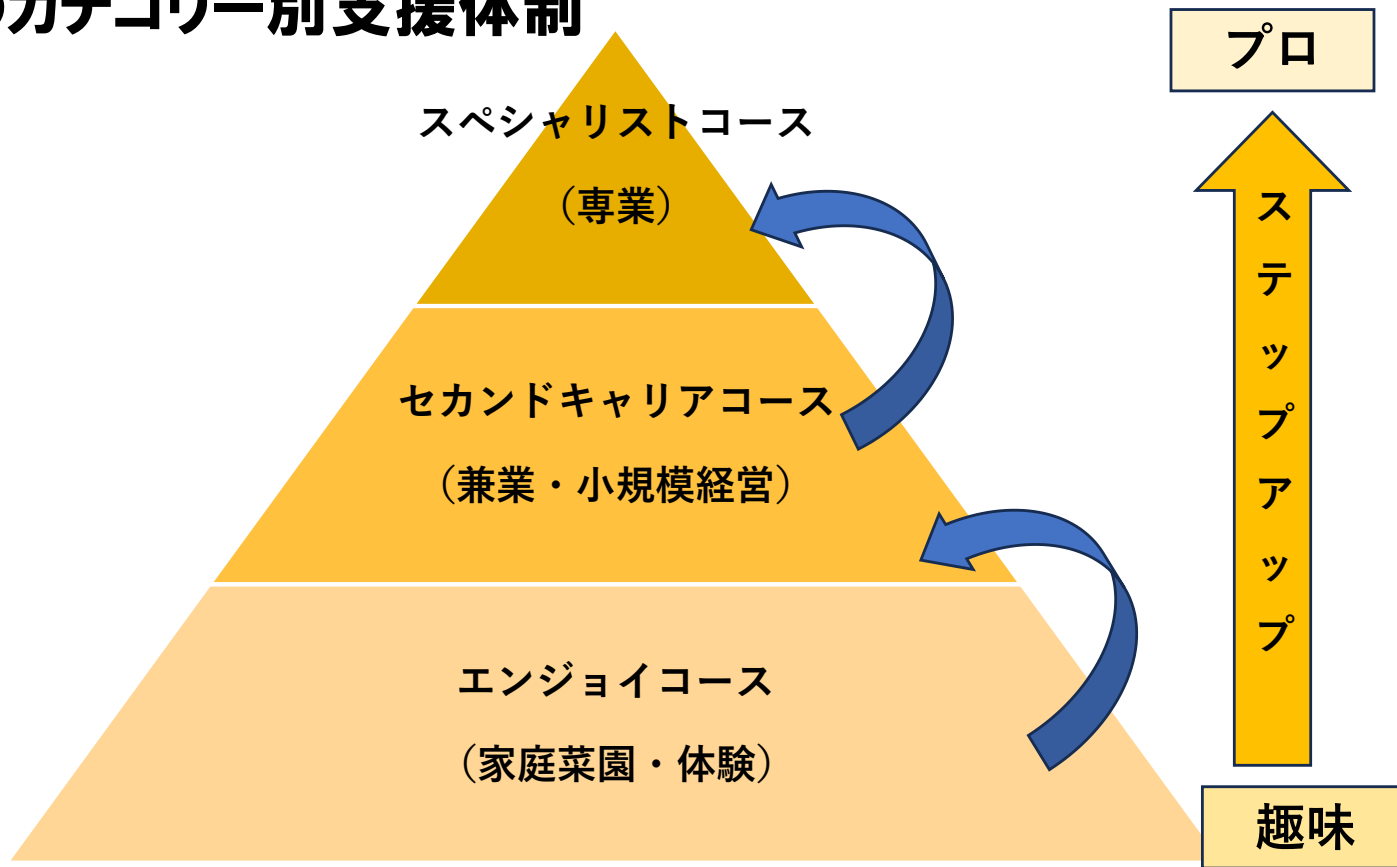
2

カテゴリー別の支援

3

就農支援サポートプロジェクトチーム
の設置

3つのカテゴリー別支援体制



一人一人の『やってみたい』に合った
乗り越えられるハードルの提供

<スペシャリストコース(専業)>

技術習得

- ・ JA佐野独自の指導カリキュラム
- ・ 子会社の遊休ハウスの活用

高位
平準化

農地借入

- ・ 公社等との連携(農地バンク活用)
- ・ 研修用ハウスの継続貸与
- ・ 離農者からの事業継承

安定取得

経済負担

- ・ 研修期間中の商品代金を独立時の支援
- ・ JA佐野独自要領による支援金制度

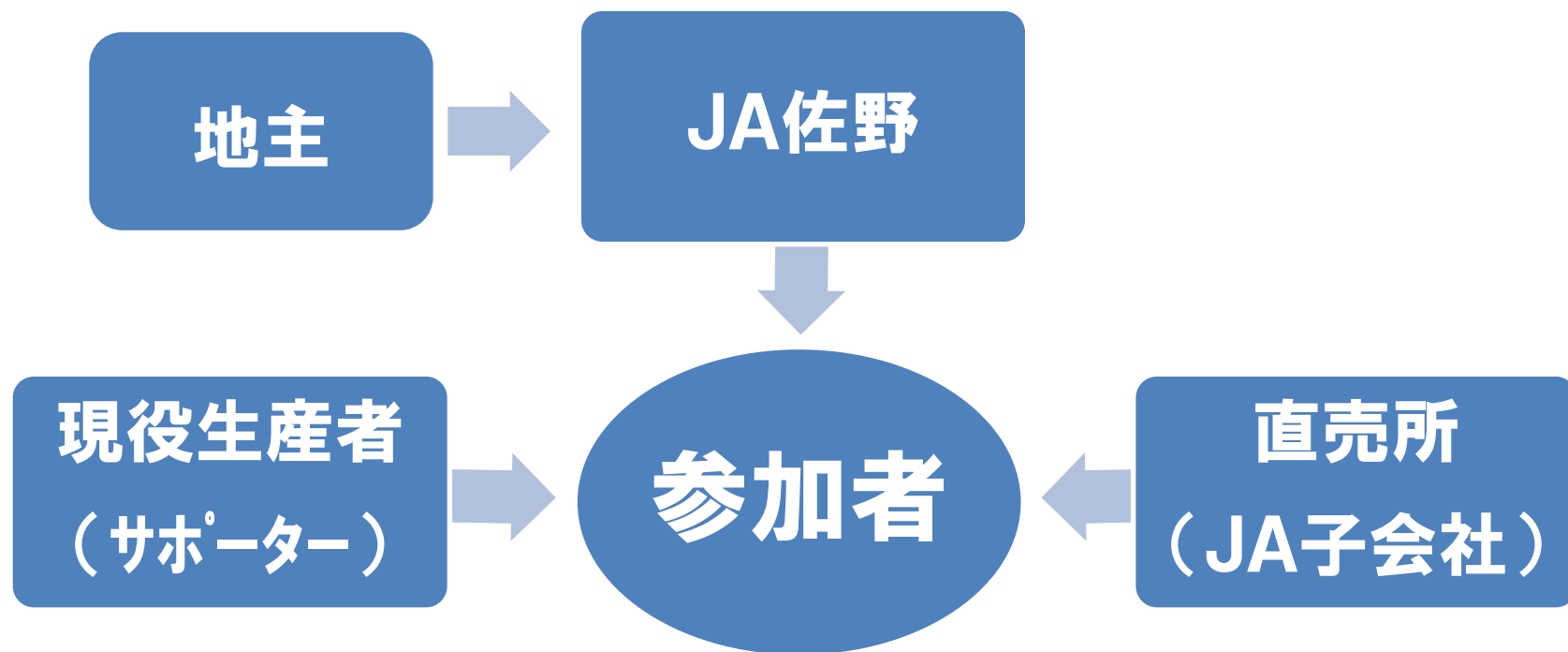
初期投資
軽減

移住時住居

- ・ JA佐野 不動産管理部門との連携
- ・ 市の空き家バンク、移住定住支援と連携

安心移住

<セカンドキャリアコース(トレーニングファーム)>



- 遊休農地をトレーニング圃場として活用
- 農機具貸与、栽培技術指導、営農・販売アドバイス
- 農家認定、農地取得要件クリアを目指す

<エンジョイコース>

体験と学習の場の提供

↳ 『やってみたい』を醸成する

【収穫して楽しい】

味覚狩り
収穫体験

【食べておいしい】

レンタル農園

【作ってみて楽しい】

サポート付
農業体験学習

JA佐野

- ・指導
- ・販売
- ・購買
- ・TAC
- ・融資開発課

栃木県

- ・技術支援
- ・補助事業

佐野市

- ・農業公社
- ・農業委員会
- ・空き家バンク

JAグループ

- ・全農
- ・中央会
- ・農林中央金庫

生産者

- ・技術指導
- ・相談、アドバイス

多面的サポートの実現

情報発信力の強化

**関係機関との
スピーディーな連携**

- ・多角的なサポートの検討
- ・カテゴリー別支援窓口を一本化

ハードルを下げ、一人でも多くの
『やってみたい』に寄り添うサポート

新キャッチコピー

【あなたのやってみたいを

全力応援】

ご清聴ありがとうございました